

アクティビティノート <第318号>

2023年7月度の受付相談事例を中心に記載しています。

1. 相談業務
 - 1-1 2023年7月度相談受付件数 ……p.2
 - 1-2 受付相談事例および内容の紹介 ……p.3~8
2. ちょっと注目 『保冷剤を上手に使う』 ……p.9~10
3. コラム 『生魚の取り扱いに注意（ヒスタミン中毒）』 ……p.11~12

TOPICS

**保冷剤を上手に使う**

厳しい暑さが続きます。最近、街中でもよく見かけるリング状で首周りに装着するタイプの保冷剤について問合せもありました。暑い時期には、大活躍する保冷剤ですが、製品ごとに取り扱いに注意しながら上手に使って夏を乗り切りましょう。

**生魚の取り扱いに注意（ヒスタミン中毒）**

サバ、マグロ、イワシなどには、アミノ酸の一種であるヒスチジンが多く含まれています。常温に放置すると細菌が増殖してヒスチジンからヒスタミンが作られることがあります。ヒスタミンは食中毒の原因となる化学物質です。ヒスタミン中毒を防ぐ注意点などをまとめました。

1. 相談業務

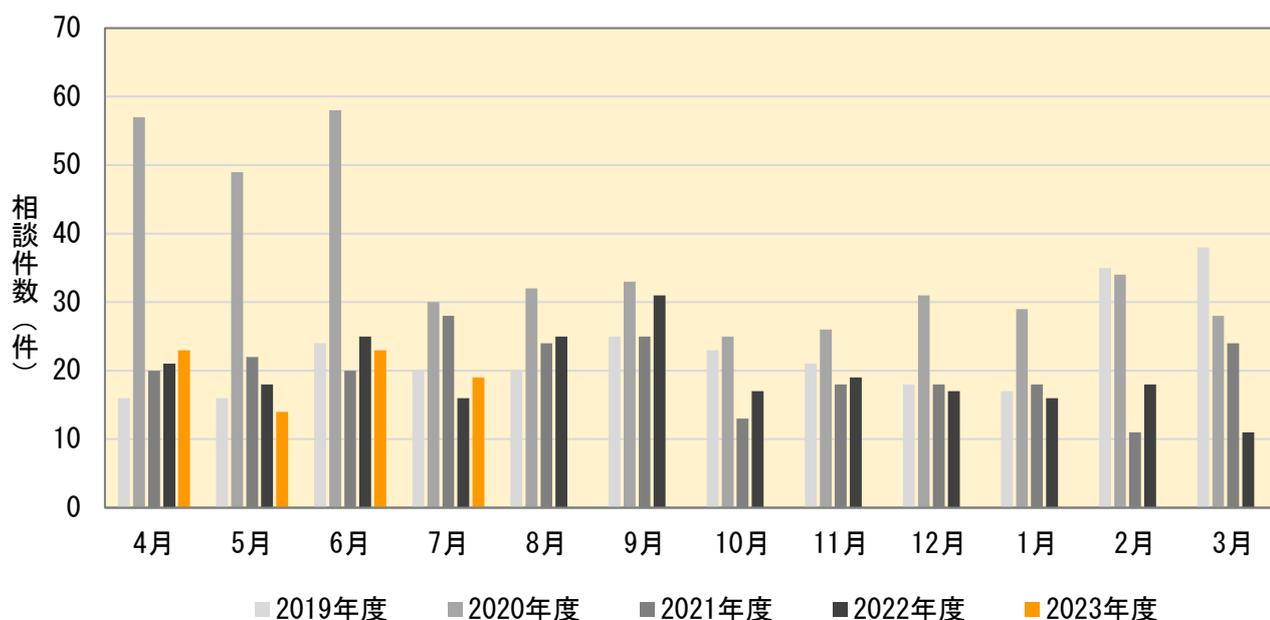
1. 1 相談受付件数

2023年7月度相談受付件数 (6/27~7/25 実働:20日)

	事故クレーム 関連相談	品質クレーム 関連相談	クレーム関連 意見・報告等	一般相談等	意見・報告 等	合計	構成比
消費者・ 消費者団体	3	1	3	6	0	13	68%
消費生活C・ 行政	1	0	0	2	0	3	16%
事業者・ 事業者団体	0	0	0	3	0	3	16%
メディア・ その他	0	0	0	0	0	0	0%
合計	4	1	3	11	0	19	
構成比	21%	5%	16%	58%	0%		100%

相談内容区分(改定 2008年8月)

事故クレーム関連相談	製品の欠陥や誤使用などによって人的・物的な拡大被害が発生したもの
品質クレーム関連相談	拡大被害を伴わない、製品そのものの品質や性能に関する苦情
クレーム関連意見・報告等	事故の報告や品質の苦情に関する意見・要望など、当センターからコメントを出さないもの
一般相談等	一般的な相談・問合せ等
意見・報告等	一般的な意見・報告・情報の提供を受けたもの



相談受付数の推移 (2019~2023年度)

1. 2 受付相談事例および内容の紹介

※「臭い」と「ニオイ」の区別について

不快または好ましくない場合を「臭い」とし、柔軟剤・芳香剤・化粧品・香水等のように意図的に付加した場合を「ニオイ」と表記することにしてあります。「ニオイ」としたのは、意図的に付加した場合でも、不快とを感じる方がいるため、中立的なイメージとして表現しました。ただし、不快臭を付加した場合（ガス臭等）は「臭い」とすることにしてあります。

◆事故クレーム関連相談

- ◆ <食器用のせっけんで陶器の表面がドロドロになった> 「100円ショップで購入した陶器の小鉢を〇〇社の食器用せっけんで洗ったところ、表面がドロドロになった。小鉢の販売店を通して、メーカーに問い合わせたが原因はわからないと回答された。食器用せっけんの注意表示には『漆器、アルマイトには使用しない』とあるのは確認した。〇〇社にも問い合わせたが同様にわからないとの回答であった。なぜドロドロになったのか知りたい」との相談を受けている。化学製品PL相談センターで対応してもらえるか。〈消費生活C〉

⇒小鉢が陶器製であること、〇〇社のホームページから食器用せっけんは弱アルカリ性の脂肪酸カリウム系であることは記載されていますが、それ以上の個別の製品や成分についての詳細情報は、当センターでは持ち合わせておりません。また、これまで食器がせっけんや洗剤などで溶け出す同様の事例はありません。

- ◆ <アイロン用シワ取り剤を使用して衣類がシミになった> 〇〇のアイロン用シワ取り剤△△を愛用している。今回、登山等で着用するポリエステル100%のトレイルシャツ□□に使用してアイロンをしたところ、使用した部分がシミになった。シミはアイロンをした直後にはわからず、次の洗濯時に気が付いた。△△が原因とは思わずに再度使用したところ、1回目と同じく、△△を使用した部分がシミになっている。〇〇にメールで画像と詳細を伝えたところ、「シミは使用した部分の一部なのか、使用した部分全体なのか。回復のため水洗いを試してください」とのメール返信があり、使用した部分が全てシミになったことと、何度も水洗いして落ちないことを再送信して回答を待っている。画像を送ったのに、水洗いをするようにとだけの対応に不満である。シミになった衣類の実物を確認すべきではないか。該当品を送ることはできるが、トレイルシャツ□□の新品と交換してほしい。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。〈消費者〉

⇒アイロン用シワ取り剤△△の製品表示を確認すると水溶性ポリマーとの記載がありますので、製品によりシミになったのであれば、まずは水洗いを試すことを〇〇から提案されたと考えられます。水洗いで落ちないことを伝え、回答待ちとのことですので、使用した製品と実物を確認してほしいとの希望を伝えてはいかがでしょうか。製品が原因であるか不明ですので、今の段階で新品との交換は難しいと思われます。

- ◆ <マンションの大規模修繕工事と自宅の漏水工事で体調不良> 昨年より、自宅マンションの漏水事故による修繕と引き続き大規模修繕工事が行われ、4カ月前に終了した。同時期に新型コロナウイルス感染症にもなった。1カ月前から頭痛、めまい、全身のシビレ、呼吸困難な

どの症状が出たため、内科を受診したところ、甲状腺の疾患である橋本病と診断されたが、治療するほどではないと言われ、心身症の治療を受けている。自分としては、家から離れると症状がよくなることから、これまで修繕工事に使用された化学物質によるシックハウス症候群ではないかと思っている。どのくらい経てば化学物質の放散は収まるものなのか。〈消費者〉

⇒化学物質の放散が収まる期間の質問については、現在の体調不良の原因となる成分も特定されていない上に、温度・湿度・換気などの環境や個人の感じ方によっても異なりますのでお答えできかねます。室内の換気を心掛けてください。既に、病院を受診されており、体調不良が続くようであれば、これまでの状況を説明され、原因が化学物質である可能性についても医療機関に確認されてはいかがでしょうか。

- ◆ 〈設置した押し入れ用チェストで体調不良〉 ○○製の押し入れ用チェストを3日前に設置したが、臭いが強く部屋に入ると喉の痛みやせき込むなどの症状が出る。チェストに入れたローブなどを使用しても同じ症状となる。チェストのためだと思うが、どうしてこのような症状になるのか。化学物質に関することなので、消費生活センターから紹介された。〈消費者〉

⇒体調不良の原因と治療については、医療機関に相談されることをおすすめします。○○製の押し入れチェストは、金属枠、不織布のかご、仕切りに合板などが使われており、合板には接着剤、塗料などに由来する臭いが残ることがあります。時間の経過とともに臭いは徐々に少なくなりますが、臭いの感じ方には個人差があります。現在の状況を販売店○○にご相談されてはいかがでしょうか。

◆品質クレーム関連相談

- ◆ 〈購入した椅子の臭いが強い〉購入した椅子の臭いが強い。その臭いがとても不快である。どうしたらよいか。製品の注意書きには接着剤から臭いがする場合はと書かれている。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。〈消費者〉

⇒椅子には、脚などの木材や座面の緩衝材など様々な素材が組み合わされて使用されており、素材そのものや接着剤などから臭いが出る場合があります。臭いが気になる場合は、部屋の換気を行うことで揮発性のある臭い成分については徐々に弱くなりますので、試されてはいかがでしょうか。

◆一般相談

- ◆ 〈紫外線防御フィルムの表示について〉窓ガラスに使用した紫外線防御フィルムの遮断の表示について問合せを受けている。消費者はメーカーからこの表示の根拠はJIS規格とされている。どういうことか教えてほしい。〈消費生活C〉

⇒建物の窓ガラス用フィルムにはJIS-A5759の規格があります。紫外線の透過率について表示する場合は、地表に届く紫外線であるUV-BとUV-Aを想定して3%以下でなければならないとされています。ただし、フィルムが設置された窓については、窓の向き、日照の条件などは個々に異なりますので、消費者を感じるフィルムの効果について

はわかりかねます。

- ◆ <乾電池を入れたまま調理した食品を食べた場合にどうなるか> 「5日前に中華料理店でラーメンを注文し、麺を食べ終えた後にどんぶりの底に乾電池が入っていたことに気が付いた。店にはすぐに伝え、後日店から混入した原因について説明を受けている。混入の原因は麺を茹でる時に使用しているタイマーがどんぶりの中に落ち、乾電池が入ったと説明をされ、乾電池に膨らみなどの異常があったかどうかは確認していない。乾電池がラーメンの中に入り有害な物質が出たのではないかと心配している。体調に異変はないが、念のために昨日、内科を受診した。現在、影響は出ていないと診断されたが、今後についてはわからないと言われ心配である」との相談を受けている。乾電池が食品に入るとどうなるのか。〈消費生活C〉
 - ⇒当センターでは、乾電池が食品に入った場合に起こる事象については情報を持ち合わせておりません。乾電池にはアルカリ乾電池やマンガン乾電池などの種類があり、アルカリ乾電池には水酸化カリウム、マンガン乾電池には塩化亜鉛、それぞれアルカリ性の液体が使われています。また、乾電池の中味の成分が食品に溶けだすことで身体に影響を与えることも考えられます。既に医師の診断を受けていますので、体調に注意しながら継続して様子を見るように伝えてはいかがでしょうか。
- ◆ <活性炭の入手方法について> 個人宅の倉庫の脱臭に活性炭を使用したい。活性炭を主成分とした脱臭剤の製品はあるが、製品化したものではなく活性炭だけを購入したい。どこで販売されているか教えてほしい。〈消費者〉
 - ⇒一般の方が事業者用の活性炭を購入して利用することはおすすめできません。活性炭を製品化したものは、消費者が安全に使用できるよう設計され、製品表示も検討されています。使用目的に合わせて、倉庫向けの脱臭剤を検討されてはいかがでしょうか。
- ◆ <浄水器に湯気がかかったが大丈夫か> 沸騰したお湯をシンクに流した時に、蛇口に付けた浄水器に湯気がかかった。浄水器のメーカーに確認したところ影響は無いと言われているが、浄水器の樹脂などへの影響はないのか。化学製品PL相談センターはインターネットで調べた。〈消費者〉
 - ⇒浄水器の材質がわかりませんので明確なことはわかりかねます。沸騰したお湯が直接、浄水器にかからず、湯気がかかったとのことですので、メーカーからの回答の通り樹脂への影響は小さいと考えられます。浄水器の外観や作動部の動き方などを改めて確認されてはいかがでしょうか。
- ◆ <水銀体温計が破損したがどうしたらよいか> 水銀体温計を破損した。中味の水銀がこぼれているがどうしたら良いか。水銀は危ないと言われている。化学製品PL相談センターはインターネットで調べた。〈消費者〉
 - ⇒水銀体温計には1g程度の水銀が使われていることが多いようです。水銀は室温でも気化し、蒸気になるので換気を十分に行うことが必要です。室内の換気をまず行い、割れたガラスには気をつけながら、直接水銀に手で触れないように紙などを使い、ビニール袋等に集めてください。廃棄方法についてはお住まいの自治体に相談をしてください。

- ◆ <車用補修材である研磨剤をレンジフードに使用されたが安全性はどうか>築15年のレンジフードの清掃を依頼した業者が、清掃時のシミを修復するために〇〇製の車用補修材である表面研磨剤を勝手に使用した。使用された製品ではないが、類似製品の研磨剤の成分について調べると成分によっては安全性が心配になる内容が書かれていた。化学物質についてはこのことで、消費生活センターから紹介された。<消費者>
 - ⇒〇〇製の表面研磨剤を製品を用途外に使用されたとのことですので、当センターでは安全性についてコメントはできません。〇〇の製品には、研磨剤・石油系溶剤・界面活性剤との記載がありますが、使用されている成分など詳細な内容についてはメーカーに確認をされてはいかがでしょうか。
- ◆ <アルミ製の箱型ケースの内側の臭いが強い>カメラを入れるアルミ製の箱型ケースの内側の臭いが強い。その臭いがとても不快である。どうしたらよいか。化学製品PL相談センターはインターネットで調べた。<消費者>
 - ⇒カメラを衝撃から守るためにケースの内側に緩衝作用のある発泡剤などが内張りされており、緩衝材そのものや接着剤などから臭いが出る場合があります。臭いが気になる場合は、ケースを空けたまま換気の良いところに置くと、揮発性のある臭い成分については徐々に弱くなりますので、試されてはいかがでしょうか。
- ◆ <殺虫剤の安全性について> 母が入所予定となっている施設の居室で害虫の発生が確認され、入所前に2種類の殺虫剤を使用して業者による駆除が行われた。使用した殺虫剤は、ゴキブリ、ダニ等を対象とした、有効成分が有機リン系のプロピタンホスとチャタテムシ等を対象とした有効成分がピレスロイド系の製品である。業者に安全性について確認したところ、問題ないと言われた。母には持病があり、殺虫剤成分が残留しているかもしれない状況で入所しても問題ないか。化学製品PL相談センターはインターネットで知った。<消費者>
 - ⇒製品の安全性についてはメーカーが責任を持つ事柄であり、正しい使い方、注意事項を守れば安全性は確保されています。ただし、使用された殺虫剤が人によってはアレルギーなどを示す場合があります。体調不良となる場合も考えられます。持病をお持ちであるとのことですので、まずはかかりつけの医療機関に状況を伝え、相談をされてはいかがでしょうか。
- ◆ <ホワイトボード専用マーカーについて>ホワイトボードに油性マジックで書いたら消せないが、油性マジックの上からホワイトボードマーカーで上書きすると今度は消せる。この現象はなぜ起きるか教えてほしい。<事業者>
 - ⇒メーカーから公開されている通り、ホワイトボードマーカーには剥離剤が含まれていません。油性ペンで書いた直後であれば剥離剤の働きで消すことができます。油性ペンで書いてから時間が経過するとホワイトボードに油性成分が染み込むため落としにくくなります。当センターでは個々の製品の成分についてはわかりかねますので、製品のメーカーに確認をされてはいかがでしょうか。
- ◆ <廃油せっけんについて> 30年前から福祉施設で廃油せっけんを製造して販売している。

最近はだんだんと売れなくなってきた。インターネットを見ると、廃油せっけんの安全性に問題があるとの情報がある。個人の長年の経験として、台所のシンクなどに使用しているが問題はない。安全性をPRしたいがどうすればよいか。〈事業者〉

⇒当センターは、特定の事業者・製品に関するコンサルタント業務は行っておりません。お問い合わせの安全性に関してはお答えできかねます。製品の生産にあたり労働環境の確保、製品の品質の管理や使用時の安全性は、製造者が責任を持つ事柄です。個人の経験値ではなく、法的な根拠に基づいた説明責任が製造者には求められますので、ご検討が必要と考えます。

- ◆ 〈製品の取扱い表示についてのアドバイス〉 業務用で企業向けに販売している「粘着剤を使用した防虫トラップ」を一般の消費者向けに販売することを考えている。製造物責任法の観点から、製品の取扱い表示についてアドバイスをしてもらえるか。〈事業者〉

⇒当センターは、特定の企業・製品に関するコンサルタント業務は行っておりません。お問い合わせの内容についてお答えできかねます。製造物責任法は消費者庁の所管で、製造物責任法については、「製造物責任法の概要Q&A」、「製造物責任(PL)法の逐条解説」が消費者庁(caa.go.jp)から公開されていますのでそれらを参考に法律の専門家に確認されてはいかがでしょうか。

◆クレーム関連意見・報告等

- ◆ 〈殺虫剤の安全性について〉 室内で殺虫剤を使用して2カ月が経過しても皮膚の痛みや咳き込みがする。殺虫剤のメーカーに相談したが「製品には問題はない」と言われた。原因は殺虫剤だと思い、医療機関に相談しているが「殺虫剤が原因とは判断できない」と言われている。市役所にも相談しているが、成分の安全性に関してはわからないとのことで化学製品PL相談センターを紹介された。〈消費者〉

⇒現在の症状については医療機関に相談されることをお勧めします。製品の安全性についてはメーカーが責任を持つ事柄であり、正しい使い方、注意事項を守れば安全性は確保されています。ただし、人によってはアレルギーなどを示す場合があります、体調不良となる場合も考えられます。

- ◆ 〈柔軟剤・合成洗剤の香りを規制してほしい〉 近隣の洗濯物のニオイで体調が悪くなる。既に化学物質過敏症と診断されている。他にも周囲でニオイのある製品を使っている人がいると体調が悪くなるので、警察にも相談しており、製品へのニオイ成分の使用を規制してほしい。化学製品PL相談センターは都道府県の消費センターから紹介された。〈消費者〉

⇒当センターは相談者からの要望を直接、メーカーなどへ働きかけることはしていません。いただいたご意見は、誰もが見ることができるようアクティビティノートおよび年度報告書等で公開するとともに、関連する団体、機関と情報の共有を図ってまいります。

- ◆ 〈隣の家からのニオイを何とかしてほしい〉 2年半前から隣の家のお香のようなニオイで頭痛や鼻づまりの体調不良になるようになった。自治会や市、県に相談し、警察にも相談をして

いる。また、複数の病院と診療科にも相談しているが、症状から化学物質過敏症の可能性があるとされている。体調不良になるのは、自分だけではないと思う。何とかできないか。行政から化学製品 PL 相談センターを紹介された。〈消費者〉

⇒体調不良については医療機関にご相談ください。ニオイについては、当センターではいただいたご意見を誰もが見るができるようアクティビティノートおよび年度報告書等で公開するとともに、関連する団体、機関と情報の共有を図ってまいります。



保冷剤を上手に使う

厳しい暑さが続いています。先日、保冷剤について相談がありました。最近、街中でよく見かけるリング状で首周りに装着するタイプの保冷剤です。子どもやペットが中味をかじった時の安全性についてのお問合せでした。

暑い時期に大活躍する保冷剤について、気をつける必要のある事柄をお伝えします。



○リング状で首周りに装着するタイプの保冷剤¹⁾

首周りに使われるリング状の保冷材には PCM と呼ばれる素材が使用されている製品がほとんどです。PCM とは Phase Change Materials で相転移物質の略となり、水も該当します。0℃以下では固体の氷に、0℃で氷から水となり液体に、そして 100℃で水から水蒸気である気体にそれぞれ相転移します。リング状の保冷剤に使われる PCM は、28℃以下で凍結し固体になります。そして凍結した 28℃で融解し、解けるまでその温度を維持することになります。リング状の保冷剤を首に装着すると体表面温度より約 5～10℃低い 28℃の状態、首周りを冷やし続けることになります。氷のように 0℃ではないので肌に触れても冷えすぎる事もなく、結露もし難いので衣類を濡らすこともありません。製品の大きさや使用される環境にもよりますが、2 時間程度は 28℃を保つ製品が多いようです。また、28℃以下に冷やすことで再凍結するので繰り返し使用することも可能です。

PCM に使用されている素材は、ノルマルアルカン類で構造式は下記となります。



ノルマルアルカン類の融点は炭素数によって以下のように変化します。

ノルマルアルカン類は、パラフィンと呼ばれることもあり、ろうそくなどにも使われている成分です。融点以下では白い半透明な固体です。そのままでは、首に密着させ装着することもできないので、冷たさは感じにくくなります。保冷剤の PCM 用素材にするためには、ノルマルアルカン類を微粒子の乳化物の状態とし、ゲル状にすることで首周りに密着させ装着することができるようになりました。また、使用状況にもよりますが、乳化エマルジョンが分離しなければ、ある程度の繰り返し使用も可能となりました。成分については、ノルマルアルカン類を複数組み合わせ、その他にも乳化剤、増粘剤などを配合することで製品化されています。製品の注意表示にも記載されていますが、中味が目や口に入った場合は、水で洗い流し、直ちに医師に相談をしてください。

分子式	名称	融点 (°C)
C ₁₂ H ₂₆	ドデカン	-12
C ₁₃ H ₂₈	トリデカン	-5
C ₁₄ H ₃₀	テトラデカン	6
C ₁₅ H ₃₂	ペンタデカン	9.9
C ₁₆ H ₃₄	ヘキサデカン	18
C ₁₇ H ₃₆	ヘプタデカン	21
C ₁₈ H ₃₈	オクタデカン	28-30
C ₁₉ H ₄₀	ノナデカン	32-34
C ₂₀ H ₄₂	イコサン	36.7
C ₂₁ H ₄₄	ヘンイコサン	40.5

○冷蔵・冷凍の食品を持ち返る時の保冷剤

小袋に入れられた保冷剤が、冷蔵・冷凍の食品を持ち返る時に添付されることがあります。この小袋は、水が主成分の保冷剤がほとんどで、冷えた状態では固いハードタイプのものと、冷えた状態でも柔らかいソフトタイプのものがあります。いずれもおむつなどにも応用されている水を吸い取る吸水ポリマーが使われていて、自重の 50 倍以上の水を含ませることができます。ソフトタイプには、0℃以下でも凍らないようにエチレングリコールやプロピレングリコールなどが加えられているので、ソフトタイプは食品の容器形状に合わせて変形できるメリットがあります。但し、エチレングリコールやプロピレングリコールは、誤飲による中毒が報告されている物質です。小袋の中味を食品にかける、載せるなど食品の一部と間違え食べてしまう事故がありましたので注意が必要です。²⁾

また、冷凍の食品を持ち返る時には、ドライアイスが使われることがあります。ドライアイスは、二酸化炭素を固体にしたもので、固体から直接気体になります。作り方は、急冷して雪状にした二酸化炭素を高圧 (137 気圧) 下で押し固めて製造をします。二酸化炭素の分子量は 44 で、ドライアイスの比重は 1.56 です。一辺 3cm 程の立方体 (27mL) のドライアイスの重さが約 44g となりますので、これが気化すると 22.4L の二酸化炭素ガスになります。ドライアイスを「密閉する容器に入れる」、「袋の口を閉める」ことにより破裂する可能性があるため厳禁です。また、ドライアイスは-78.5℃の固体ですので、皮膚に触れると低温やけどとなります。取り扱いには注意が必要です。



特に子どもや認知機能が低下した高齢者には、周りの方の注意が必要です。保冷剤は、取り扱いに注意しながら上手に使って暑い夏を乗り切りましょう。

【参考にした情報】

1) ノルマルパラフィンエマルジョン型潜熱蓄熱材料 ; HARIMA Quarterly, No.88, 2006,p15-17

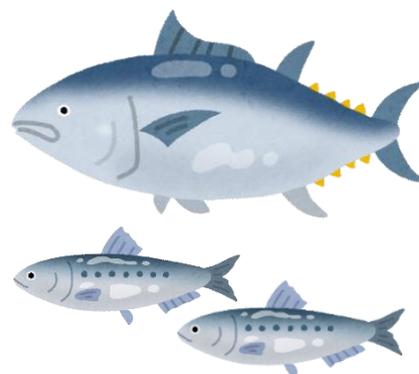
2) 保冷剤の誤飲事故に注意しましょう！ : 中毒情報センター

<https://www.j-poison-ic.jp/report/horeizai202306/>



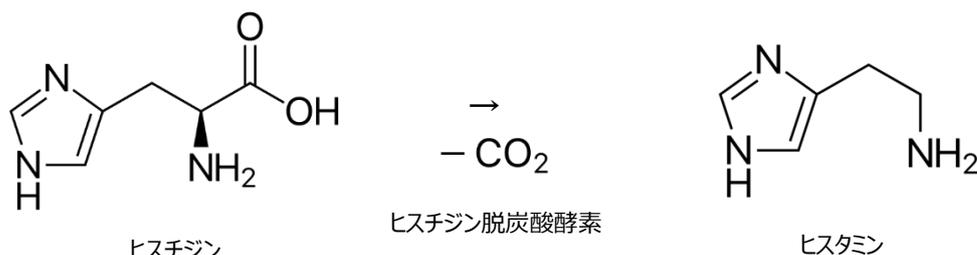
生魚の取り扱いに注意 (ヒスタミン中毒)

サバ、マグロ、イワシなど赤身の魚には、白身の魚と比べるとアミノ酸の一種であるヒスチジンが多く含まれています。これらの赤身の魚を常温に放置するなど不適切な管理がされてしまうと、細菌が増殖してヒスチジンからヒスタミンが作られることがあります。ヒスタミンは食中毒の原因となる化学物質です。ヒスタミンによる食中毒は、アレルギーに良く似た症状で食後数分から30分位で顔面（特に口の周りや耳たぶ）が紅潮し、頭痛、蕁麻疹、発熱などを示します。生魚を扱う時には注意が必要です。^{1)、2)、3)}



○ヒスチジンからヒスタミン

ヒスチジンはアミノ酸の一種です。ヒスタミン生成菌と呼ばれる魚の体表・腸管に存在する菌や海洋などの環境にも存在する菌でモルガン菌、ビブリオ科細菌などが持つ、ヒスチジン脱炭酸酵素によってヒスタミンは生成します。



ヒスタミン生成菌が持つヒスチジン脱炭酸酵素は、加熱することによって不活化されます。また、冷凍状態では酵素も働かないのでヒスタミンが生成することはありません。しかし、冷凍状態でも酵素は分解しないので、冷凍状態から室温に戻る過程で酵素が急速に働きだし、ヒスタミンが生成されてしまいます。また、一度作られたヒスタミンは熱に対して安定で、調理によっても分解しません。

○ヒスタミン生成菌を活動させない

ヒスタミンによる食中毒を防ぐには、ヒスタミン生成菌を食材である魚の身などにつけない、増やさないようにして、ヒスチジン脱炭酸酵素が働かないようにすることが大切です。

魚を捕獲して保存する場合は、速やかに冷蔵、冷凍をすることで常温に放置する時間を最小限にする衛生管理を徹底することが必要です。例えば、魚を釣った場合もすぐに氷水に漬け込んで常温には放置せず、氷が解け切らないように低温で管理します。また、凍った魚も常温での解凍はせずに、流水解凍、氷水解凍、冷蔵庫解凍などの方法で解凍をしましょう。そして、加熱調理まで長時間放置することも止めましょう。⁴⁾



また、ヒスタミン生成菌は魚のエラや内臓に多く存在するので、できれば取り除いてから低温保管をしましょう。

○ヒスタミン食中毒を防ぐ

鮮度が低下した魚は、体内にヒスタミンが蓄積している場合があります。加熱調理ではヒスタミンは分解することはないので、食べないようにしましょう。魚の鮮度を判断する時に、腐敗臭や外観などで判断をしますが、状態には関係なくヒスタミンの含まれる量が多いこともありますので注意が必要です。

注意するのは生魚だけではなく、魚を使った加工食品でも発症する場合があります。すり身や照り焼きなど味を沁み込ませ、加熱調理まで長時間放置する可能性がある場合は、よりリスクが高まります。さらにチーズやサラミ、醤油などの発酵食品でも発症する可能性があります。

ヒスタミンが高濃度に含まれた食品は、口にいった時に唇や舌先など口内にいつもと違うピリピリした刺激を感じる場合があります。そのよう時は食べずに処分をしましょう。

食べる時には改めて注意をしましょう。

【参考にした情報】

1) ヒスタミン食中毒 ; 消費者庁

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/food_safety_portal/other/contents_001/

2) ヒスタミン (ファクトシート) ; 食品安全委員会

<https://www.fsc.go.jp/factsheets/index.data/210330histamine.pdf>

3) ヒスタミン食中毒について ; 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130677.html>

4) 解凍のコツ ; ニチレイフーズ

<https://www.nichireifoods.co.jp/media/3691/>

化学製品PL相談センター ニュースメールメンバー 登録受付中



『アクティビティノート』の発行や、催し物、出版物のご紹介など、当センターの最新情報を随時お知らせする e-メールサービスです。

- ・人数や資格の制限はありません。(誰でも登録できます)
 - ・費用は無料です。(インターネット通信費・接続費は各自でご負担ください)
 - ・お申し込みはE-mail (PL@jcia-net.or.jp) で。
(件名に「ニュースメールメンバー登録」とご記入ください)
- ①ご氏名(フリガナ) ②お勤め先(フリガナ) ③ご所属・お役職・ご担当など
④ご連絡先(勤務先か自宅かを明記)の住所・TEL・E-mailアドレス

※ご連絡いただきました個人情報は、当センターのプライバシーポリシーに則り適正に管理いたします。

出前講師のご案内



化学製品PL相談センターに寄せられた相談事例を基に、化学製品による事故を防ぐための生活上の注意点等についてお話させていただきます。

各地の消費生活講座や、地域のサークルの勉強会などに、ぜひご活用ください。

日時・費用・その他の詳細につきましては、お気軽にご相談ください。

(TEL 03-3297-2602 担当：菅沢(スガサワ))

アクティビティノートに関するご意見・ご感想をお待ちしております。

化学製品PL相談センター

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1 住友不動産六甲ビル7階

TEL : 03-3297-2602 FAX : 03-3297-2604

URL : <https://www.nikkakyo.org/plcenter/>

本レポートに掲載した内容の無断転載を固く禁じます。